

2025年度（第76回） 全国労働衛生週間を迎えるにあたって 会長メッセージ

2025年度の全国労働衛生週間は、
「ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場」
をスローガンとし、10月1日から10月7日まで実施されます。

全国労働衛生週間は、1950年に初めて実施されて以来、今年で第76回を迎え、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的として実施されます。

今年度のスローガンは、働く上で基本となる健康の確保について、ワーク・ライフ・バランスを確保するとともに、2025年5月に成立した改正労働安全衛生法で労働者数50人未満の事業場にもストレスチェックの実施が義務化されることを契機に、今一度ストレスチェックをはじめとした職場におけるメンタルヘルス対策を点検し、健康に働くことができる職場づくりを目指していくことを表しています。

2024年の産業廃棄物処理業における労働災害発生状況を見ると、休業4日以上の死傷者数は1613人となり、前年より87人増え、依然として他産業に比べて高い状況にあります。今後、人材を確保していくためには、事故なく安心して働くことのできる職場環境づくりは不可欠です。

つきましては、全国労働衛生週間を契機として、経営トップの明確な方針のもと、労使協力により、それぞれの職場における労働衛生活動が一層推進され、すべての働く人々が心身ともに健康で安心して働くことができる職場を構築していただくよう、お願いいたします。

2025年9月
公益社団法人 全国産業資源循環連合会
会長 永井 良一